

## 地方会議（大分県大分市）

### 1. 日時、場所

平成24年4月16日（月）15時00分～17時00分  
大分商工会議所 6階大ホール

### 2. 参加者

地元の若手・女性の中小企業経営者等 120名

### 3. 参加者の意見

#### （1）出された意見数（課題別）

全体意見数	32
資金調達	2
経営指導・経営支援	6
技術力・人材（技能承継等）	8
取引関係（下請取引・流通構造等）	0
販路開拓（海外展開等）	0
若手・青年層の活力発揮	6
女性層の活力発揮	1
「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）	6
その他	4

#### （2）主な意見

##### 【資金調達】

・補助金はある意味貰いっぱなしの資金。経営には、地域の民間金融機関等による生きた資金を活用し、補助金に頼りすぎないことが重要。

##### 【経営指導・経営支援】

- ・中小企業が新事業に参入する際は、設備投資等で苦しいため、税額控除等の特別措置を望む。
- ・新連携の認定を取得したが、書類作成が煩雑で対応出来る余裕がなく、結局補助金の活用を断念した。改善を望む。
- ・販路開拓の補助金なのに、条件が厳しく、結局役に立たなかった。使い勝手がよくなければ補助金の意味がない。補助金は少額でよい。
- ・信頼できる地元の業者に依頼したいのに、補助事業においては、入札で業者を選定しなければならない。結果として地域にお金が落ちないこともあ

る。柔軟な対応を。

#### 【技術力・人材（技能承継等）】

- ・当社では東京での営業に、OB人材を活用している。民間OB人材の活用を進めて欲しい。
- ・就職難と言われているのに、実際若手は来ない。就職支援の先生方にも中小・小規模企業の魅力を伝えていただきたい。
- ・新卒を雇用したが、掃除の仕方も分からないし、学習意欲が見られなかった。基本的なことや商売の厳しさもちゃんと学ばせて欲しい。

#### 【若手・青年層の活力発揮】

- ・我が国は起業家教育が進んでおらず、起業に対する心理的ハードルが高い。起業しやすい環境整備を。
- ・「親の背中を見よう見まねで経営する」のでは通用しない時代。後継者が地域のリーダーの経営姿勢や考え方を学んだり、ネットワークを構築できるような仕組みが必要。
- ・NPO法人や創業者、新規事業展開に対して出資するベンチャーキャピタルを支援する仕組みがあるとよい。
- ・地域に優秀な若手が入ってくると活性化する。企業で雇用できないなら、商工会・商工会議所で3～5年間雇用してはどうか。

#### 【女性層の活力発揮】

- ・地域には30代の女性は沢山いるのに、保育園に入れないう等の理由で就業できないのは勿体ない。女性が働きやすいよう、基礎的な環境作りを望む。

#### 【「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）】

- ・過疎地に限っては、大店法を復活させた方がよいのではないか。一度消滅した商店街は二度と復活しない。
- ・商店街は人の交流の場。人が街を作り、街が人を作るという「街育」の推進が必要。

#### 【その他】

- ・折角行政から賞をもらっても、担当部署しかそれを知らない。タテ串ではなく、ヨコ串を刺すような政策をお願いしたい。
- ・海外からの観光客の増加にあわせて、地域のことを深く知りたいという希望に添えるようなインフォメーションを作るべき。